



# 八幡鍍金工業株式会社

## 2017年度 環境活動レポート

(2017年4月～2018年3月)



エコアクション21

認証・登録番号0004215

(2009年10月 2日 登録)

(2017年10月 2日 更新)

作成： 2018年3月30日

改訂： 2018年7月24日

# 環境方針

## <環境理念>

我々八幡鍍金工業株式会社は金属表面処理の事業活動の中で、環境保全を重要課題として再認識し10年, 50年, 100年後も自然と共存できる企業体制を構築していく事を環境理念として環境方針を掲げ、経営者及び従業員一同一丸となって継続的に環境との共存を推進します。

## <環境保全への行動指針>

当社 金属表面処理の事業活動である防錆処理による環境負荷の低減のみならず作業工程を見直し、より一層環境との共存の為に次の様な環境方針を定めます。

1. 環境関連法令及び、条例などの規制事項を順守します。
2. 以下について環境目標及び実施計画を立て、企業体制を継続的に改善し、積極的に環境負荷低減に努めます。
  - ①温室効果ガスである二酸化炭素の低減
  - ②節水の積極的な取り組み
  - ③希少金属・化学物質使用量の削減
  - ④産業廃棄物の減量
  - ⑤事務用品のグリーン購入
3. 当社で働くすべての従業員に環境方針を周知します。
4. 環境方針及び環境活動レポートをホームページにて公開し常時閲覧可能にします。

制定日：2008年11月18日  
改定日：2012年05月12日

八幡鍍金工業株式会社  
代表取締役社長 **八幡 義一**

## □登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名  
 八幡鍍金工業株式会社  
 代表取締役社長 八幡 義一
- (2) 所在地  
 本社:東京都江戸川区平井5-20-9  
 工場:東京都江戸川区篠崎町3-33-11
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
 担当者:八幡 直人 TEL:03-3617-7707  
 責任者:八幡 浩二 TEL:03-3670-2120
- (4) 事業内容 (認証・登録の範囲)  
 金属製品等のめっき、塗装および表面処理加工  
 めっき等種類:ダブルニッケル・黒ニッケル・クロム・黒クロム・代用金・本金  
 各種ブロンズ・各種つや消し・無電解ニッケル・PTFE複合  
 環境対応処理:無電解ニッケル(RoHS対応)
- (5) 事業の規模

活動規模	単位	2015年度		2016年度		2017年度	
		平井	篠崎	平井	篠崎	平井	篠崎
主要製品 処理面積	m <sup>2</sup>	※ダブル+シングル					
		1329.959		1319.954		1222.949	
平井	人	9	26	9	26	9	25
従業員		35		35		34	
床面積	m <sup>2</sup>	平井工場 716.58		篠崎工場 963.44		全工場 1680.02	

※ シングルは品物を1つ、ダブルは2つ掛けるキャリアを有する自動機の事

- (6) 事業年度  
 4月～翌年3月

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	工場	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素排出量 (エネルギー総量)	kg-CO2 /年	平井	42,983	45,024	37,330
		篠崎	368,333	371,458	363,811
石油系・ガソリン燃料 含む	C02 排出係数		0.375	0.375	0.375
産業廃棄物排出量	t/年		24.5	15.8	23.3
総排水量	m <sup>3</sup> /年	平井	451	456	393
		篠崎	7,928	7,727	7,265

# 環境目標及び取組計画と評価 2017年度

環境項目	環境取組計画の内容	環境目標	事業所	実行責任者	2015年度実績	2016年度実績	2017年度			評価	
							目標	実績	達成率		
二酸化炭素の削減	電気使用量 ①電気ヒーター間欠による節電 ②メンテナンスによる電力負荷低減(ベアリング、ベルト等) ③不要な電灯、電化製品のオフ ④不要な機材ポンプ局所排気装置のスイッチオフ	対前年度比1%削減	平井	加藤(貴)	52.5	55.2	54.6	45.1	121.1%	○	良い結果がでたので継続していきたい。
			篠崎	伊藤(寿)	505.3	544.7	539	531	101.5%	○	年間を通して100%以上の高達成率を維持できた。継続していきたい。
	ガス使用量 ①乾燥釜効率化 ②釜、または熱交の清掃(熱交換率Up) ③ボイラー稼働時間の短縮 ④断熱剤等による保温・余熱で流せる所はボイラーを切る	Kg-CO2/百万円CO2/売上	平井	加藤(貴)	60.8	67.2	66.5	54.7	121.6%	○	良い結果がでたので継続していきたい。
			篠崎	大日向	842.1	882.8	874	901	97.0%	○	結果が出せているので、今まで通り継続していきたい。
節水対策	水道使用量 ①漏水箇所防止の徹底 ②高圧洗浄機導入による、清掃作業の効率化 ③各ライン内の水洗オーバーフロー水量の見直し ④各ライン内の水洗タンク更新周期の研究 ⑤必要ない水は止める	対前年度比3%削減 m <sup>3</sup> /百万円水道使用量/売上	平井	八幡(直)	1.7	1.81	1.76	1.72	102.3%	○	前年使用量456m <sup>3</sup> に対し、今年は424m <sup>3</sup> と、年間で32m <sup>3</sup> 節水する事ができた。
			篠崎	山崎	16.6	16.5	16	15.7	101.9%	○	とても良い結果なので、これからも継続していきたいと思う
			工水	山崎	13.4	14	13.6	13.9	97.8%	○	とても良い結果なので、これからも継続していきたいと思う
産廃物の軽減	産業廃棄物 ①持ち込み梱包剤の再利用 ②事務所等の事務用紙の再利用 ③ゴミを社内に溜めない	対前年度比1%削減 Kg/百万円廃棄量/売上	平井	加藤(貴)	1.12	1.39	1.38	1.57	87.9%	○	良い結果がでたので継続していきたい。
			篠崎	佐藤	8.2	9.1	9	7.9	113.9%	○	達成できているので、継続していきたい。
	汚泥 ①スラッジを乾燥し、含水量をなるべく減らす。 ②鍍金液をこぼさず、なるべく回収する		篠崎	大日向	92.6	62.3	61.7	90.2	68.4%	×	開板の頻度が上がり、工業者の作業場所を作る為、汚泥を置く場所がなくなった。捨てに行く頻度が上がった事が原因。
化学物質削減	ニッケル金属 ①効率のよいラインへのNiめっき製品の移動 ②Niめっき液回収の効率化 ③Niチップの落下防止	対前年度比2%削減 Kg/百万円使用量/売上	篠崎	伊藤(寿)	22.7	21.3	20.9	20.8	100.5%	○	ニッケルめっきの電気管理の意識が向上している結果が数字に出ていると思う。更に削減できるよう努めたい。
	銅金属 ①必要以上の膜厚をつけない。		篠崎	古川	5.6	5.2	5.1	4.9	104.1%	○	年間の液管理が難しく、なをかつ、ザラ等の問題もあり、目標達成には、いたらなかった。
	75%硫酸 ①必要以上の濃度の硫酸を薬品注入タンクに入れない。 ②過度な薬注や脱脂液処理への過剰使用に気をつける		篠崎	緒方	40.2	33.2	32.5	38.7	84.0%	○	去年と比べて実績が良くなかったため次は達成率を90%以上にはしたいと思います
	塩素 ①必要以上の濃度の塩素を薬品注入タンクに入れない ②塩素容器内を水洗いし無駄なくタンクへ注入		篠崎	緒方	31.0	31.3	30.7	30.1	102%	○	年間をとおして達成率は良かったので継続していきたいと思います
	苛性ソーダ ①必要以上の濃度の苛性を薬品注入タンクに入れない		篠崎	緒方	22.4	23.7	23.2	20.6	113%	○	年間をとおして達成率は良かったので継続していきたいと思います
	青化ソーダ ①青化銅・真鍮・代用金めっきの不良を出さない様にする		篠崎	古川	1.06	1.18	1.16	1.38	84%	○	真鍮及び厚付液の遊離シアン比率を上げての液管理が予想以上に難しく、使用量が増加し、不良も少し増えてしまった。
	ポリミ No.500 1019クヤ ①塗装作業の効率化 ②塗料の再利用		平井	加藤(貴)	0.67	1.14	1.12	1.04	108%	○	良い結果がでたので継続していきたい。
グリーン購入	①環境に配慮した事務用品の購入を推進する	対前年度比3件増件	平井	八幡(直)	10	11	14	12	85.7%	○	年間で1件増加する事ができ、達成率85.7%で評価は○となったが、目標には及ばなかった。

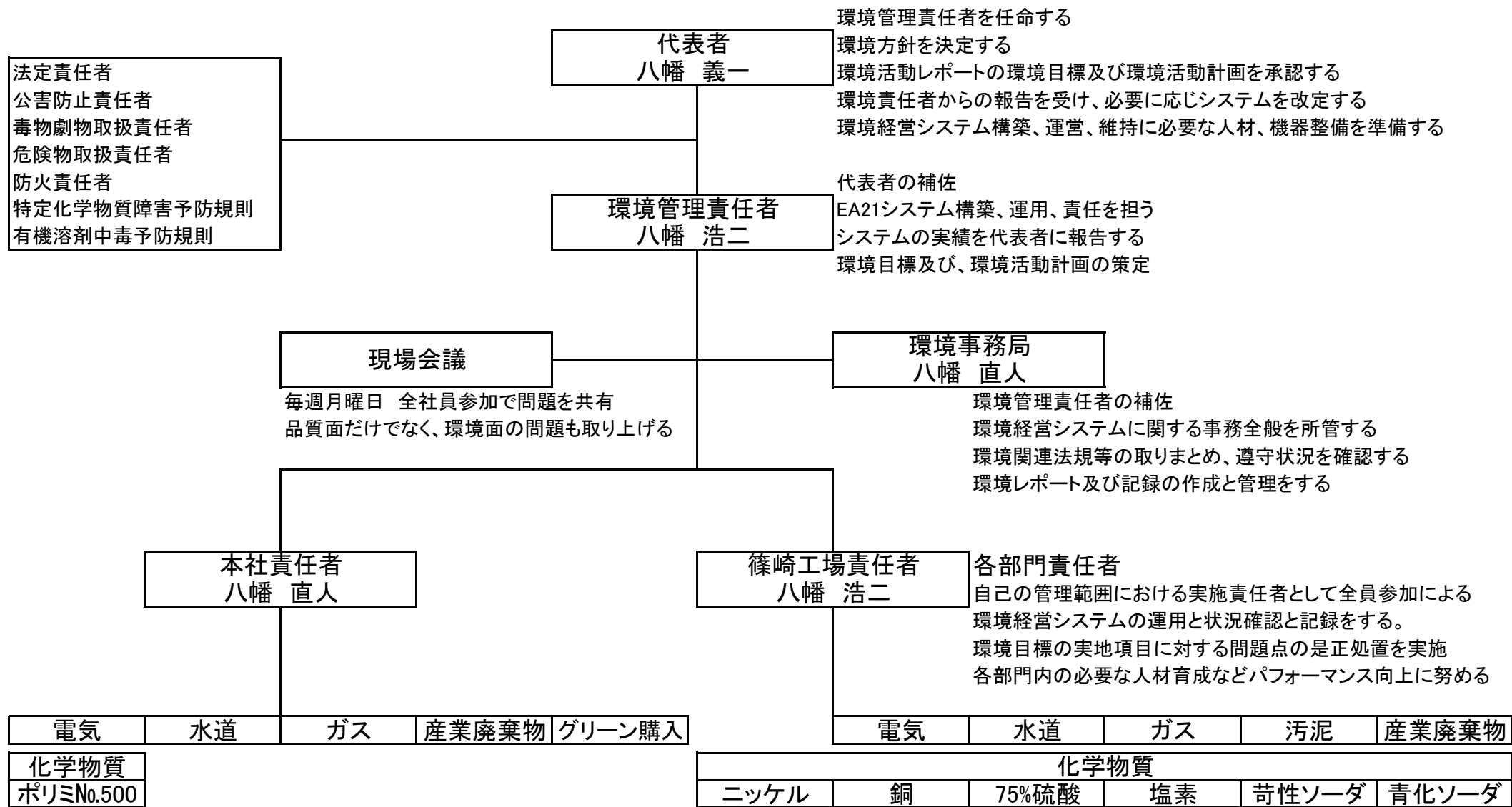
※評価○=80%以上 △=70%以上 ×=70%未満(2009年4月改訂)※評価×の物に対しては是正策を立てる※加工業が直面している問題を踏まえ、基準目標値に当たっては年度売り上げに対しての数値を基準とする事にした。  
 ※二酸化炭素排出係数は一定期間固定とし、環境目標の管理や経年比較が可能となる様にする。※電気排出係数を0.375(kg-CO2/kWh)とする。※ガス排出係数を0.0509(kg-CO2/MJ)単位発熱量を45(MJ/m3N)とする。  
 ※2017年4月～2018年3月までの数値を2017年度としている。

単年度及び中長期計画

2017年度

環境項目	環境目標	事業所	実績・基準 2015年度	単年度 2016年度	中長期目標		責任者	次年度取組方向
					2017年度	2018年度		
二酸化炭素の削減	電気 使用量	平井	52.50	51.98	51.46	50.94	加藤 (貴)	新しいキカイが入るため、電気、ガス、塗料などの数値が9月以降大きく変化すると考えられるので、目標の見直しなどの対応が必要になると思われる。
		篠崎	505.31	500.26	495.25	490.30	伊藤 (寿)	毎年、前年度比1%削減であれば、デマンド値が上がったりしないよう気をつければ現状維持(不良率低下、効率の良いめっき、こまめな機械整備)で対応できると思う
	ガス 使用量	平井	60.76	60.15	59.55	58.96	加藤 (貴)	新しいキカイが入るため、電気、ガス、塗料などの数値が9月以降大きく変化すると考えられるので、目標の見直しなどの対応が必要になると思われる。
		篠崎	842.10	833.68	825.34	817.09	大日向	今までと同様に現状を維持する事と、早く消せる時は、早めに消す事を心掛けたい。
節水対策	水道 使用量	平井 上水	1.71	1.66	1.61	1.56	八幡 (直)	前年と同様に節水活動の呼び掛けを続けて行きたい。
		篠崎 上水	16.62	16.12	15.64	15.17	佐藤	水の出しっぱなし等を注意するよう呼び掛けていきたい。
		工水	13.37	12.97	12.58	12.20	佐藤	乾燥等で使った工水を可能なら再利用する。 必要以上に水を出さない、使わないように心がける。
		産廃物の軽減	産業 廃棄物	平井	1.12	1.11	1.10	1.09
篠崎	7.60	7.52		7.45	7.37	新田	自分でもってきたゴミは、なるべく家にもちかえる。 新しい物をすぐあけず、古い物を最後まで使ってからあける。	
汚泥	篠崎	92.59	91.66	90.75	89.84	大日向	有価スラッジとして回収してもらえる業者を見つけたいと思う。 それまでは現状を維持したい。	
化学物質削減	ニッケル 金属	篠崎	22.69	22.24	21.79	21.36	緒方	○品物の電気設定の見直しをする。 ○電気の出し過ぎに気を付ける。
	銅金属	篠崎	5.59	5.48	5.37	5.26	古川	膜厚指定の仕事量が増加している為、目標がかなり厳しくなってきましたが、-100kgの達成と稼働時間で少しでも目標に向かって努力していきます。
	75% 硫酸	篠崎	40.24	39.44	38.65	37.87	山崎	このまま継続していきたいと思う。
	苛性 ソーダ	篠崎	31.02	30.40	29.79	29.20	山崎	このまま継続していきたいと思う。
	塩素	篠崎	22.41	21.96	21.52	21.09	山崎	このまま継続していきたいと思う。
	青化 ソーダ	篠崎	1.06	1.04	1.02	1.00	古川	稼働時間の増加に伴い、使用量が少しずつ増えてきているので、液管理を中心とした、補給方法
	ホ°ミ No.500 1019㍿	平井	0.67	0.66	0.64	0.63	加藤 (貴)	新しいキカイが入るため、電気、ガス、塗料などの数値が9月以降大きく変化すると考えられるので、目標の見直しなどの対応が必要になると思われる。
グリーン購入	対前年度比 3件増加	平井	10	13	16	19	八幡 (直)	エコマークの付いた商品を優先して購入する。 目標値に実績値があまりにも伴わない様であれば、環境目標の見直しも考える。

# EcoAction 21環境対策組織図



# 環境関連法規・その他要求事項及び順守状況のチェック

八幡鍍金工業株式会社

法規名称	規制の概要	該当		順守
		本社	篠崎	
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 [フロン排出抑制法]	フロン類の適正な回収・破壊による大気中への放出抑制の遵守	/	○	✓
	3ヶ月に1度の簡易点検・1年に1度の定期点検			
下水道法	排除基準の遵守義務	○	○	✓
	特定施設の設置届出	○	○	✓
	事故時の応急措置・届出義務	○	○	✓
	排水濃度の測定・記録義務(5年間)	○	○	✓
改正水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設の点検	○	○	✓
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 [廃棄物処理法]	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	○	○	✓
	産業廃棄物の運搬又は処分を自らおこなう場合の基準	○	○	✓
	産業廃棄物の保管基準	○	○	✓
	産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合の委託先	○	○	✓
	産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合の基準	○	○	✓
	特別管理産業廃棄物管理責任者の設置義務	○	/	✓
	産業廃棄物管理票の交付義務	○	○	✓
	管理票の記載事項確認及び保存	○	○	✓
毒物及び劇物取締法 [毒劇法]	毒物劇物取扱責任者の設置・届出	○	○	✓
	毒物劇物取扱責任者の資格	○	○	✓
	毒物劇物の取扱	○	○	✓
	毒物劇物の表示	○	○	✓
	毒物劇物の事故時の応急措置・届出、盗難紛失時の届出	○	○	✓
	毒物劇物の取扱に関する届出 (電気めっき業者がシアン化合物を取扱う場合は届出義務有り)	○	○	✓
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律[PRTR法]	事業者の責務	○	○	✓
	化学物質の排出量、移動量の把握及び届出	○	○	✓
	MSDSの提供	○	○	✓
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任(10~49人)の事業場	○	○	✓
	作業環境測定義務	○	○	✓
	健康診断義務	○	○	✓
	化学物質に関するリスクアセスメント	○	/	✓
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 [グリーン購入法]	グリーン購入を行なう	○	○	✓
有機溶剤中毒予防規則 [有機則]	有機溶剤の取扱所での掲示	○	/	✓
	有機溶剤作業主任者の選任	○	/	✓
	局所排気装置の定期自主点検の実施	○	○	✓
	作業環境測定義務	○	○	✓
特定化学物質障害予防規則 [特化則]	密閉又は局所排気装置の設置義務	○	○	✓
	関係者以外の立入禁止処置	○	○	✓
	特定化学物質作業主任者の選任	○	○	✓
	健康診断義務	○	○	✓
騒音規制法	規制基準の遵守	○	○	✓
振動規制法	空気圧縮機及び送風機(原動機の定格出力が7.5kw以上に限る)	○	○	✓
東京都環境基本条例	環境負荷の低減の努力	○	○	✓
	公害防止・自然環境保全に必要な措置	○	○	✓
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 [東京都環境確保条例]	工場認可及び工場変更認可	○	○	✓
	公害防止管理者の選任と届出	○	○	✓
	適正管理化学物質の使用量等の報告	○	/	✓
東京都下水道条例	東京都下水道条例の責任者の選任と届出	○	○	✓

環境関連法規の改廃状況をチェック致しました。(2018年3月29日)

評価の結果違反はありません。なお関係当局より違反の指摘、第三者からの訴訟もありません。

(2018年3月30日)

## 代表者による全体の評価と見直し 18年03月30日

17年10月に代表を交代し今期よりコメントを出させていただきます。  
EA21に取り組んで10年目となりますが、この10年間の業績は  
(平均して約4割の売上を減少させる)非常に厳しいものであります。  
そのような中で、環境活動を全社員参加で続けられてきた  
ことは一定の評価に値すると考えています。

また、今期も売上を下げながら、前期の達成率150%の「汚泥」  
を除く全ての項目で「○」の評価となっており、全体としては  
環境目標をクリアし、環境負荷と経費の節減が継続的に行なわ  
れていることを示しています。

今後は何年かかけて、未達成項目の担当者だけでなく、達成率の  
変動要因を個々の担当者が究明できるまで、意識を高く持って  
自律的な環境活動ができる組織を目指して行きたいと考えています。

### 代表の見直し結果

	必要無	必要有
① 環境方針の変更	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 環境目標の変更	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 環境活動計画の変更	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
④ 環境経営システムの変更	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

以上

八幡鍍金工業株式会社  
代表取締役社長

八幡義一